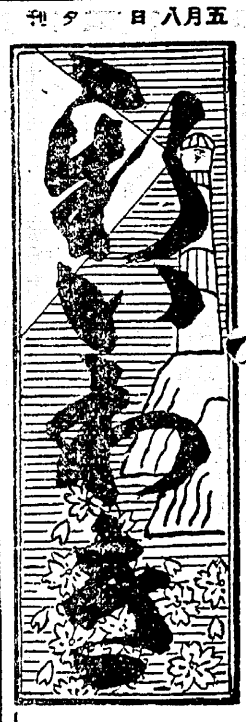
五月八日　夕刊



日刊　但日曜祭日除
一ヶ月二十五錢
郵税十五錢　一部二錢
廣告料　一行四十錢
場所指定　貳拾錢增
發行兼編輯印刷人　平谷政吉
發行所　福島縣平町大町二三　新いわき新聞社

漂砂に襲はれた小濱築港の調査

今日縣から木村主任技師出張　實地調査の上で善後策

石城郡植田町小濱の漁港修築は昭和七年度から九年度に及ぶ匡救事業として工費約五萬圓を投じ目下前年度の操越し工事中であるが漂砂の滯流で港内岩磐の堀鑿作業に支障を來たし今八日縣から木村主任技師出張小林平土木監督所長と共に實地調査の上地元の希望による設計の一部變更と漂砂取片づけに要する約一千圓の追加支出をなすかどうかを考究されてゐるが該工事を進捗させるには當然右災害物を排除せねばならぬとしても同築港は難工中の難工であつて既記の工費では完全なものに造り上げることは困難で向後十五、六萬圓を投じ防波堤並に防砂堤及び岩壁の築設から港内の淩渫等を進めなければ充分と云はれず明十一年度計畫に調査中であるが之れが實現せば現在の大型發動機船五六双の錠舶から三、四十双を容れるに足りるものとなるであらうと

青年學校の新設頭痛は經費問題

今日町村長と校長の研究協議　縣から學務課長等出張

平第一小學校講堂を會場に今八日午前十時から開催された學校令の改正による青年學校設置に關する研究協議會は縣から高井學務課長並に視學その他出張郡内町村長及び學校長を會して行はれたが實業補習校並に青年訓練所等を廢して三年乃至五年の常置校を置かれることは教育上の趣旨目的として結構に相違ないが之れに伴ふ經費が問題で平町の如きは現在九十八名の青訓生を算し同費の經常に千百七十八圓臨時部に六百圓計千七百七十八圓及び公民學校經常費に五百九十五圓この總額二千三百七十三圓の豫算を置いてあり商業校或は第一校に併置し受持教師を兼務とせば常置校として毎年五、六十名の新入學を見ても大体所記豫算の範圍内に於て當分維持經營を可能とされぬでもないが大多數の町村は經費問題で頭を惱ましてゐる模樣である

社會教育部第二回委員會

市側調査會社會教育部では今八日午後一時から第二回委員會を開き過般決定した同部の調査研究を大綱に對する各委員の意見を纏め實際的調査の開始に備へることになつた

初鰹二千尾水揚

昨日小名濱港賑ふ

水温餌付非常に良好だが肝腎の餌鰯大拂底に悩む

書入れの鰹漁期近く色めき立つてゐる小名濱に七日鰹二千本の初水揚があり小名、江名豊間、四倉、中の作各濱當業者は一齊に出動開始した、

鰹漁期のトップを切り七日小名濱に入港初鰹二千尾を水揚したのは江名町吉田善太氏所有福田丸で漁場は小笠原菁葉島沖比較的小ぶりであるため前年の初相場より稍安く一尾水揚相場六十錢平均だつた

同船の齎した鰹漁況調査によると目下本縣各鰹船は同漁場に集結して鈎獲中だが餌付水温ともに非常に良好でありながら肝腎の餌鰯の拂底から見す〳〵豊漁の好機を逸してゐる有樣で同船も餌鰯不足から已むなく歸航したもので餌鰯を滿載して今明中再び同漁場に向ふ筈である、

凶作防止に早植奬勵

郡内の田植は一帶に遲れ勝ち

郡農會で汗だくの活動

苗代時を目前にして地方農村は一樣に農繁期に入つたが昨年稀有の冷害寒害で半作以下と云ふ大凶作だつたゞけに郡農會當局では青山主任技師以下技術部總動員で稻作の指導に奔走凶作防止に努めてゐるが青山技師は

昨年の大凶作以來地方農家も漸次目醒めて來た樣で秋どもの指導する通りに種子の撰定から播種までやつて來ましたが大切な田植は一般に遲延勝ちでこれは本郡一帶の惡習とも言ふべきもので凶作防止には是非とも早植を奬勵したいと思ふ一般でも充分此の點に留意して當局の指導に從ふ樣にして欲しいと語つてゐる

千種警務課長

濱通り初巡視

本縣警察部千種警務課長は今八日午前九時半驛着列車で濱通り地方初巡視のため來平柴田署長の案内で平署内事務を視察全署員に訓示を與へた

常識講座

ハーケンクロイツは獨逸のナチスの旗だ、ヒットラーが國權を掌握する前まで獨逸には卅有余の政黨があつたが其れがナチスの爲に統一され今その旗風が津々浦々に翻てゐる相だ

入質した純銀の延棒何時の間にか鉛に化る

まんまと一杯喰はされた兩質屋さん蒼くなる

平町鍛田町古物商平野井子之松(七三)は去昭和七年十一月十六日平町三丁目三井質店に純銀の延棒三本を十五圓で入質期間が來ても受け出さないので同質店では流質處分にしやうとしたが詳細に調べて見ると銀の延棒とは眞赤な偽りで鉛棒を巧みに銀に見せて入質したものでまんまと一杯喰つたのを知つたがそのまゝ放置してた處ろ今度は同年十一月二十六日付で同町三丁目旭屋質店へ平野井の十五圓で入質した純銀が何時の間にやら鉛棒に化けてゐた事實あるのを此の程平署の柏木刑事が探知詐欺罪で取調中

不遇の放浪青年酌婦を抱いて自殺

肺結核で前途を悲觀し猫イラズを嚥んで遊興

内郷村大字宮町田料理店布川トキ方に六日午後九時頃登樓した二十才前後一見勞働者風態の青年が同家の酌婦鈴木イチ(一九)を敵娼に約六圓分を遊興イチと共に寢室に入つたが七日午前九時頃に至り突然苦しみ初め間もなく多量に吐血絶命した死因に不審の點があるので草刈部長檢視した結果酌婦と同衾中に嚥下覺悟の自殺を遂げたものと判明死体は同村役場に引渡し假埋葬に附した

右は當時住所不定無職三重縣鈴鹿郡川崎村生れ後藤宗七(三三)で各地を放浪昨年暮から錦村昭和人絹工場の人夫に雇はれたが宗七は肺結核の重症者で屢々吐血勤も休み勝ちなので去月中遂に馘首されたので病苦と前途を悲觀し同日午後一時頃平町某藥店から猫イラズを買ひ求めた上同家に登樓

拾遺歌中題詞の『さはこのみゆ』は現今の湯本（原名三箱）町に懸く

（飯坂溫泉元湯の鯖湖に强引、建碑せるは無稽、不當の極み）

〔48〕　鮫川刺史

其のアズマカイダウてふに菊多莊名を以て代へた例は菊多莊三箱湯本、堀坂口、（延元元年八月廿六日、廣橋

經泰の證判に係る相馬六郎左衛門尉胤平軍忠狀）〔相馬文書〕

右で辨からう。

後世の記錄と想はれるものを引くと

建武三（南朝の延元元）年、國司北畠顯家卿、令爪牙匠廣橋修理亮（後ち肥後權守名は經泰）城岩前郡（當時は菊多莊の治下に在り、蓋し本文は後世の追々書きならん）湯本、十二月、率岩城、岩前之衆、（按ふに高久隆俊、國泰行泰、湯本少輔坊等か）屯高野郡馬場原（今の白川郡棚倉町内）之間云々、（源流無窮、石川家藏）

斯くあり、乃ち岩前郡湯本と云ひ、菊多莊北濱前の原域たる岩崎郡管を言つてをり、此の記文は地理的に觀ると誤つてゐない。「岩城系圖」に『海道岩城』『結城文書』に『東海道宇多莊』云々など、就れも異文同意にすぎなからう。

米穀商聯合創立總會

役員を決定

石城郡米穀商組合聯合會の創立總會は此の程平町マルトモホールで開催役員選擧の結果

△會長菅本庄治(平)副會長星友太郎(植田)同菅波幸太郎(四倉)　會計梅原利三郎(平)幹事長長瀬延太郎(平)

尚今後は小賣米價の協定を實施する

比佐氏も議會報告

政界活氣動く

政友石城部會が十八日總會を開き同時に佐藤、鈴木兩代議士の議會報告演說會を開催するに對し民政石城部會も今月下旬までに總會を開き同時に比佐代議士の議會報告演說會を開いて氣勢を揚げる筈で既に本部特派員として代議士川崎克、眞鍋儀十兩氏の來郡は確定したが今秋の縣議戰を控えて漸く地方政界は活氣ついて來た

農試分場の特別農事傳習會

石城郡神谷村の縣農試分場に於ける特別農事傳習會は來る十七日午前九時半から同場講義室に開かれるが農試本場から丁技師出張「田植と本田管理」に就て一講演があると

傳貧馬檢診執行

石城産馬組合では左記の日割で傳貧馬の檢診を執行する

△九日田人村出旅人△十日田人村黑田△十一日田人村南大平同入旅人△十二日貝泊村△十四日石住村△二十日上小川村内倉△二十一日上小川村戸渡△十六日入遠野村根本△十七日入遠野村△十八日入遠野村大平

植田馬市

植田町に開催の馬市は愈々十五日から七日間に亘り同町繭市場敷地内で行はれるが出場馬多數に上る見込み殊に干葉秋田その他各地からの買人も續々入り込むものと豫想さる

苗代管理と苗代日數

農試本場　丁技師

1　苗代の管理、

（一）防風設備、山間冷涼地に於ては防風設備として苗代の保温を圖ることが苗の生育促進上必要である、設備としては簡單であつて苗代の周圍を圍まなくとも風上に風除けを設けて冷風を他方に逃がせば足りる、

（二）灌漑施設並に灌水の調節、澤水掛り、清水掛り、堀抜き井戸水掛り等冷水を灌漑する場所では水温を上昇せしむる方法をとることが肝要である、それには一段高い田を水溜めに利用して朝間に水を灌水して温まつた水を午後二時頃苗代に灌水する、又水路を迂回せしめるとか、溝中を廣め勾配を緩やかにして水を淺く流して掛けるやうにすれば水温は餘ほど上昇せられる

次に湧水田は底に穴を穿つた適當大の甕、針、柿等を湧水口に倒設して竹筒により湧水を他所に導き出すやうにすれば冷水をそのまゝ田に入れずに濟む、斯る灌漑施設を講ずることにより水温を上昇せしめて苗の生育を促進せしむることは閑却すべからざる大切な事柄である、然し之れ等のことは一人で出來ない場合が多いから水上より水下に至る皆が協力して行ふことにすればどんなことでも出來ないことではない、

次に灌水の調節であるが苗代初期は夜間氣温が低下して霜さへ降りることがある位だから午後二時頃は水を取り入れて夜間は深水として置く方がよろしい、晝間は淺水を原則とするが雨天、雲天、冷涼な日は稍深めにして置くこと掛け流しは如何なる場合でも不利であるから之れを禁ずること、水保ちの特に悪い田は客土その他の方法で改良することが何より大切である。

カツリン　モビール油
日本石油株式會社
特約販賣
油問屋　關内油店
電話長16　平城磐
支店　郡山市驛前通　電話長三二八
茨城縣關本驛前　電話長平潟七三
油槽出張所　平町四丁目　郵便局前

◇一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社印刷部

内科、小兒科
入院應需
大森醫院
醫學士　大森勇
平町南町　電二五八番

洋服は高島屋
平町二丁目　電話三八六
注文並に既製品
特製男女通學服！特價提供……
男子一年生用　紺サージ　三圓九〇錢より
綿サージ　一圓六十錢より
倉同　一圓四五錢より
女子用　サージ　三圓三〇錢より
綿サージ　一圓六五錢より
男女防水マント　一圓三〇錢より
其他春物新荷豐富取揃
高島屋洋服店

債券公債両替金融
多田井質店
平町大工町　電話五九一番

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前　電六六九番
◎自炊の便あり◎

近代趣味……
パラソル豐富陳列
ツルヤ
電一四〇

内科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科
平町田町　電話五一三番
高久病院
院長　醫學士　高久忠

好評嘖々
たる各種優秀藥
大衆酵母劑　カタレー（三十三日分　定價一圓十錢）
強力驅毒劑　スピロイン（定價三圓　五圓　十圓）
平町五丁目角
特約販賣店　山野邊藥局

（磐城共濟病院）福島縣平町電六四一
内科　院長　醫學博士　石山謙郎（電話六四一番）
小兒科　副院長　醫學博士　五十嵐雄二（電話三七〇番）
産婦人科　部長　醫學士　大町久藏（電話二七二番）
外科耳鼻咽喉科　部長　醫學士　前澤正
皮膚泌尿器病科花柳病科　醫學博士　石山謙郎
X光線療物科　技術員　石後利彦
衛生試驗所獸醫　高本孝平
藥局　藥劑師　吉木寶雄
事務長　鈴雄
（毎日午前八時より午後十時迄診療）
◎…病室完備…入院隨意…◎

平町紺屋町
藤沼醫院
電七〇五番

貸手車
平町大町若松醫院隣
牛谷

南部に面して位置し　強く安く　煙突
煙突は
野口
石鹸　ヒヤシンス
特製品
肌触りはやはらかく　くさらない
經濟的で　衛生的で　安全な
金屋商店

安價で効果的な
天然加里肥
最も適應する作物！
蔬菜　馬鈴薯　里芋　しやうが類
◎茄果類ではトマト　茄子の如き比較的病害に強い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます
天然加里肥は酸性でないから
◎如何に施用しても土壌を悪變する虞は絶對にありません
一俵　參拾錢（大量取引は特に割引致します）
製造販賣　金成國雅
平町鎌田　電話六八八番
貨物自動車（トラック）の御用命に應じます

石炭
コークス
豆炭
平町郵便局通り
水野石炭店
電話二九九番